

"コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース (7/29-31) セブンスターホンダ7、11 (MOTUL)がワンツーフィニッシュ！ 4耐はモリワキクラブ (MOTUL) 優勝、赤い三輪車 (MOTUL)2位！

7月29-31日、鈴鹿サーキットにて第28回"コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレースが行われた。

7万2000人の観客が見守る中レースはスタート。予選2位スタートのセブンスターホンダ7 (宇川・清成組-Motul) が好スタートを切ってホールショットを奪い、その後も順調に2番手以降を引き離した。午後1時ごろに大粒の雨が降り出し、ライトオンの指示。次々転倒が相次ぐ中、#7はウェットでも安定した走りを見せ、最後には2位に4周もの大差をつけチェッカーを受けた。このセブンスターホンダ7の優勝で、HONDA勢としては9連覇を達成。また怪我の痛みを注射で抑えながら走った藤原選手のセブンスターホンダ11 (バーミュレン/藤原組-Motul) が2位に入った。MOTULはHONDAとの初のテクニカルサポート契約にも関わらず、見事優勝を獲得した。

一方2年ぶりに8耐に帰ってきたMORIWAKI MOTUL TIGER RACING (松戸・キャミア組) は一時3位まで順位を上げるも、4時間経過したところにキャミア選手が濡れた白線に足元をすくわれ、痛恨のクラッシュ。外装は大破、ハンドル周りも損傷したが、すぐにピットに戻り、15分程度の迅速なピット作業でレースに復帰。が、その間、3位から45位まで順位を落としてしまう。ところがその後、松戸選手が怒涛の追い上げを見せ、15人も抜き去り、最終的には15位まで順位を上げ、フィニッシュした。

また土曜日 (7/30) に行われた4時間耐久レースは、モリワキクラブ (Motul) がポールトゥーフィニッシュで完勝。昨年優勝の赤い三輪車 (Motul) が2位に入った。

4耐、8耐とも1-2ともにMotul勢が獲得、Motulの信頼性をアピールする形となった。



8耐優勝したセブンスターホンダ7



2位表彰台のセブンスターホンダ11



4耐で優勝した#19モリワキクラブ



4耐2位の、#3赤い三輪車